

会社はこうして強くする



(11月のごあいさつ)

平成22年11月2日(火)

台風の間(那覇 10/28、東京 10/30)をSkipして、ファミリービジネス研究会の年次総会コンファレンスに行つて来ました(那覇発 10/29、東京発 10/31)季節は夏から冬へ移つた感じがします。

5~8年位前に「会社はこうして強くする」という題で、50ヶ所位のところでお話させていただいたことがある。「スピード化、透明化、捨てる化」という三つのポイントを自分なりにまとめたもので、その頃の仕事のテーマとしていたものでもあった。余りレベルの高いものではないが、お客様に少し役立ったこともあったように思う。

今回、ある企業グループの幹部研修で話をさせてもらうことになった。そこで5年ぶりに、この「会社はこうして強くする」のテーマを使うことにした。

しかし、内容は全て改めて、と言っても会計士の話であるから、外から見たらそんなに変わらないかもしれないが、「利益、投資、会社」というテーマでやろうと思っている。利益や損失は結果であつて、生じた後ではどうにもならない。しかし、年々どうにもならなかったでは済まされない。投資も実行してからでは後戻りが出来ない。では慎重にというのは当然であるが、慎重だけでは発展がない。だから、そこの始まりのあたりの話をしたい。

「利益とは、収益なのか経費なのか」という話である。300人位の方々の前なので、細かい話はできないが、利益は結果ではない、プロセス(過程)であるというような話が出来たらと思う。

IFRSの時価主義、結果主義に反発を覚えている今日この頃、なので横道にそれない程度に「利益」の話をしたい。

もう一つは「投資、企業にとっての最大のリスクであり、リターンである」という話も幹部の方には聴いて欲しい。財務諸表にはリスクの表示は出来ているが、リターンは不完全な気がしている。それではそれを見る人の、利用する人の感想になる恐れがある。リターンの表現が出来るような話をしたい。

結局、そんなことをしゃべりながら、「会社とは何か」ということを考えてもらいたいように思っている。もちろん会社は「株主のためにある」とも「従業員のためにある」とも思わないが、様々な人たちの利益を調整する働きがある。

会社の調整する何かを良い方向で最大にすれば、社会の価値の増大に結びつくのではないだろうか。